

シネマ

Fukuoka City Public Library Movie Hall Ciné-là

Ciné-là



特別企画

・カール・ドライヤー
レトロスペクティブ

収蔵映画特集

・日本の女優達



「奇跡」

カール・ドライヤー レトロスペクティブ

映画史の中でも最大級の評価を得ている監督の一人であるカール・ドライヤー。今回のレトロスペクティブはドライヤーの母国デンマークをはじめ、ヨーロッパ各国のフィルムアーカイヴの協力により、ニュースプリントで上映されます。伝説の巨匠の映像にぜひ触れてみてください。

日本の女優達

映画の華といわれる映画女優。その中でも大女優と呼ばれる人々は限られています。今回は、田中絹代、吉永小百合、高峰秀子といった、日本映画を代表する大女優たちの傑作を、当館収蔵作品の中より、代表作10本を選び、特集いたします。



「夜の河」

収蔵映画特集

日本の女優達

会 期:平成16年1月7日(水)~1月18日(日)

※休館日・休映日除く

観覧料:500円(大人) 400円(大学生・高校生) 300円(中学生・小学生)

※定員制・各回入替制。※チケットはすべて当日券。前売り券はありません。

※福岡市在住の障害者の方は無料。福岡市在住の65才以上の方は半額。
(手帳の提示が必要です。)

映画の華といわれる映画女優。その中でも大女優と呼ばれる人たちは限られています。才能だけではなく、監督や作品に恵まれ、時代に受け入れられてこそ、はじめて大女優と呼ばれるようになります。当館収蔵作品の中より、田中絹代、吉永小百合、高峰秀子など日本映画を代表する大女優達の傑作、代表作10本を選び、特集いたします。

青い山脈・続青い山脈

1月7日(水) 14:00 1月11日(日) 14:00



「青い山脈」と「続青い山脈」はいわゆる前後編の関係にあたる。原節子が閉鎖的な田舎町の学校で奮闘する進歩的な女教師を演じた青春映画。戦後すぐから本作と同じ年に製作された小津安二郎の「晩春」に主演するまでの原節子は意志の強い自立した女性役が多い。この作品はその典型ともいえ、もっとも成功した作品であろう。

1949年/35ミリ/モノクロ/183分/藤本プロダクション/監督・今井正/主演・原節子、池部良

また逢う日まで

1月8日(木) 14:00 1月10日(土) 14:00



ロマン・ロランの小説を脚本家・水木洋子が翻案・脚色した恋愛映画。愛し合う若い二人が戦争のために引き裂かれていく…。主演の久我美子は上品な物腰と凛とした美しさの中に強い意志を感じさせる当時では数少ないタイプの女優として、本作で一躍注目を集めるようになった。

1950年/35ミリ/モノクロ/111分/東宝/監督・今井正/主演・久我美子、岡田英次

特別企画

デンマークが生んだ
ヨーロッパ最高の巨匠
カール・ドライヤーの作品に迫る。



カール・ドライヤー レトロスペクティブ

聖なる映画作家 カール・ドライヤー

カール・ドライヤー(1889年~1968年)は、映画史の中でも最大級の評価を得ている監督の一人です。「まちががなく、ドライヤーこそ、エイゼンシュテイン以降最も厳格な映画監督である」(フランソワ・トリュフォー)、「私にとって最も偉大な監督は、カール・ドライヤーだ」(シドニー・ルメット)、「カール・ドライヤーはすごい才能だ」(オーソン・ウェルズ)等、ドライヤーは世界中の映画監督から賞賛され、「彼こそ映画史上最高の監督だと断じてしまいたい気にならせる、際だって高くそびえる映画作家である。」(宇田川幸洋)とされています。

今回のレトロスペクティブはドライヤーの母国デンマークをはじめ、ヨーロッパ各国のフィルムアーカイヴの協力により、ニュープリントで上映されます。その妥協なき孤高の映画製作により生み出された奇跡とも言われる映像美と独創性は、フィルムで上映してこそ観客にその真価を伝えることができます。伝説の巨匠の映像にぜひ触れてみてください。

会 期:

平成16年1月21日(水)~
1月25日(日)

観覧料:600円(大人)

500円(大学生・高校生)

400円(中学生・小学生)

※定員制・各回入替制。

※チケットはすべて当日券。前売り券はありません。

※福岡市在住の障害者の方、及び

福岡市在住の65才以上の方は300円。(手帳の提示が必要です。)

裁かるるジャンヌ

The Passion of Joan of Arc

1月21日(水) 14:00 1月24日(土) 11:00



ジャンヌ・ダルクの裁判記録をもとにした作品だが、数ヶ月にわたった裁判をジャンヌが処刑された最後の一日に凝縮し、すべてが一日の間に進められたかのような描き方をしており、まるで前衛映画のような趣である。ドライヤー監督の無声映画の到達点であり、世界映画史の金字塔の一つと評価される傑作。詩人アントナン・アルトーの出演でも知られる。

1927年/35ミリ/モノクロ/サイレント/97分/フランス/日本語字幕付き/
監督 カール・ドライヤー/出演 ルネ・ファルコネッティ、ウジェーヌ・シルヴァン

偽れる盛装

1月8日(木) 19:00 1月10日(土) 17:00



京都・祇園でドライで奔放に生きる芸妓・君蝶と知的な君蝶の妹・妙子のそれぞれの生き方を対比的に描いた監督・吉村公三郎と脚本・新藤兼人のコンビによる名作。君蝶役の京マチ子は木村恵吾の「痴人の愛」で注目を集め、本作と黒澤明の「羅生門」の二作によって大女優として認められるようになった。

1951年/35ミリ/モノクロ/103分/大映/監督 吉村公三郎/主演 京マチ子、菅井一郎

稲妻

1月9日(金) 19:00 1月11日(日) 11:00



林芙美子の同名小説の映画化。四人とも父親が異なる異父兄妹とその母親の姿を、淡々と描いた成瀬巳喜男=高峰秀子のコンビによる代表作の一つ。高峰秀子は1929年、わずか5歳にして映画デビュー、以降1979年に女優を引退するまで常に第一線で活躍を続けた。成瀬とコンビによる林文学の映画化作品はいずれも戦後の代表作となっている。

1952年/35ミリ/モノクロ/87分/大映/監督 成瀬巳喜男/主演 高峰秀子、浦辺粂子

西鶴一代女

1月9日(金) 14:00 1月12日(月・祝) 14:00



井原西鶴「好色一代女」の映画化。年老いた娼婦が辿った不幸で数奇な半生を描き、戦後の溝口健二、田中絹代にとって代表作となった作品。1924年15歳でデビューし、20歳にときにはすでに大スターとなっていた田中絹代は、サイレントからトーキー、戦中、戦後を通して常に第一線で活躍したまさしく日本を代表する映画女優である。

1952年/35ミリ/モノクロ/136分/新東宝/監督 溝口健二/主演 田中絹代、三船敏郎

ここに泉あり

1月15日(木) 14:00 1月18日(日) 14:00



群馬交響楽団創立期の実話をもとに、楽団員達が僻地への出張演奏をまいとわずに、クラシック音楽を市民に根付かせようと奮闘する楽団員達の姿を明るくさわやかに描いた名作。ピアニスト役を演じた岸恵子は、1949年にデビュー、1953年の「君の名は」で一躍大人気女優となる。国際派女優としても有名である。

1955年/35ミリ/モノクロ/150分/中央映画/監督 今井正/主演 岸恵子、岡田英次

吸血鬼

Vampire

1月22日(木) 14:00 1月24日(土) 17:00



一人の青年が村の不気味な宿に泊まる。この宿の主人はすぐに何者かに射殺され、青年は宿の主人に二人の娘がいることを知る。娘の一人レオネは病気で寝たきりだが、彼女の首には傷が付いていた。ドライバーが自らのプロダクションを立ち上げて製作した作品。薄ぼんやりした映像は、まるで白日夢のような吸血鬼の恐怖を作り上げていく。怪奇映画の古典的作品。

1931年/35ミリ/モノクロ/70分/ドイツ/日本語字幕付き/
監督 カール・ドライバー/出演 ジュリアン・ウェスト、アンリエット・ジェラル

怒りの日

Day of Wrath

1月22日(木) 19:00 1月24日(土) 14:00



魔女狩りが行われていた頃のノルウェーの村。牧師アブサロンには、娘ほど年の離れた妻アンネがいた。アンネの母は魔女の疑いをかけられた女性だった。アンネはアブサロンの前妻の息子に惹かれ、彼を誘惑する。16世紀に実際に起こった話に基づいた作品だが、ナチスドイツが支配するデンマークで製作されており、出演の俳優たちの見事な演技と緊迫感はドライバーの作品の中でも屈指である。

1943年/35ミリ/モノクロ/97分/デンマーク/日本語字幕付き/
監督 カール・ドライバー/出演 リスベト・モーヴィン、トール・ローセ

夜の河

1月10日(土) 11:00 1月17日(土) 14:00



京都の老舗の染物屋の一人娘・キワはある日、大学教授・竹村と出会う。竹村には女学生の娘と長く病床にある妻がいた。互いに惹かれあう二人は…。ミス日本出身の山本富士子が演技面で初めて認められた作品。その後華々しい活躍を続けるが、1963年独立問題のもつれから映画から遠ざかってしまう。

1956年/35ミリ/カラー/104分/大映/監督 吉村公三郎/主演 山本富士子、上原謙

妻は告白する

1月16日(金) 14:00 1月18日(日) 11:00



大学助教授夫妻と若い会社員の登山パーティが遭難し、妻は自らと愛人である会社員を救うため、宙づりとなった夫のザイルを切ってしまう。彼女は殺人の容疑で逮捕され、増村保造と若尾文子のコンビによる代表作。1952年大映でデビューした若尾文子は、すぐに人気スターとなるが、本作と「女は二度生まれる」で演技派としても高い評価を得る。

1961年/35ミリ/モノクロ/91分/大映/監督 増村保造/出演 若尾文子、川口浩

キューポラのある街

1月12日(月・祝) 11:00 1月17日(土) 11:00



主人公・ジユンの父親は鋳物職人だが勤め先が大会社に吸収されたため、クビになってしまう。貧しさや偏見や差別の中でも、ひたすら明るく前向きに生きる若者達の姿を描いた青春映画の名作。吉永小百合は1959年松竹でデビュー、1960年日活に入社後、青春映画のアイドルとして注目を集め、本作を契機に大スターとなっていく。

1962年/35ミリ/モノクロ/99分/日活/監督 浦山桐郎/主演 吉永小百合、浜田光夫

緋牡丹博徒 お竜参上

1月16日(金) 19:00 1月17日(土) 17:00



浅草の鉄砲久一家に草鞋を脱いだお竜。その頃、鉄砲久一家は、娘婿が持つ興行権を狙う鮫村政によって苦しめられていた。藤純子の代表的シリーズ「緋牡丹博徒」の第六作でシリーズ最高傑作。1960年代の東映任侠路線を代表する女優として活躍した藤純子は、1972年引退。その後1989年、富司純子として映画界に復帰している。

1970年/35ミリ/カラー/100分/東映/監督 加藤泰/出演 藤純子、菅原文太

奇跡

The Word

1月23日(金) 14:00 1月25日(日) 11:00



コトランド半島の村。農場一家の次男ヨハネスは、自分をキリストだと言い、精神に異常をきたしていた。ところが長男の妻のインガーが子供を死産し、インガー自身も死んでしまうと、正気になったヨハネスが死んだインガーを蘇らせるのだった。神への信仰の意味を問う傑作で、死者が蘇るラストシーンは、ドライバーの映画世界を凝縮したような崇高さをはらんでいる。ヴェネチア映画祭グランプリ。

1954年/35ミリ/モノクロ/126分/デンマーク/日本語字幕付き/
監督 カール・ドライバー/出演 ヘンリック・マルベア、エミール・ハス・クリステンセン

ゲアトルーズ

Gertrud

1月23日(金) 19:00 1月25日(日) 14:00



弁護士の妻であるゲアトルーズは、もうすぐ大臣に任命されるといふ夫に満足していない。愛こそすべてと考える彼女の愛は若い作曲家に向けられる。しかし作曲家の愛が彼女に向いていないことを知ったゲアトルーズは、夫の元を去り、パリへ行く決心をする。古典的な様式美をたたえ、客間やサロンといった限定された空間の中に主人公の情熱が巧みに視覚化される、ドライバーの遺作。

1964年/35ミリ/モノクロ/117分/デンマーク/日本語字幕付き/
監督 カール・ドライバー/出演 ニーナ・ベンス・ローゼ、ベンツ・ローテ

2003
12/28 日

年 末 年 始 の 休 館 日

5 月					
6 火					休 映 日
7 水					[14:00] 青い山脈・続青い山脈
8 木					[14:00] また逢う日まで [19:00] 偽れる盛装
9 金					[14:00] 西鶴一代女 [19:00] 稲妻
10 土					[11:00] 夜の河 [14:00] また逢う日まで [17:00] 偽れる盛装
11 日					[11:00] 稲妻 [14:00] 青い山脈・続青い山脈
12 月 月 日					[11:00] キューボラのある街 [14:00] 西鶴一代女
13 火					休 館 日
14 水					休 映 日
15 木					[14:00] ここに泉あり
16 金					[14:00] 妻は告白する [19:00] 緋牡丹博徒 お電参上
17 土					[11:00] キューボラのある街 [14:00] 夜の河 [17:00] 緋牡丹博徒 お電参上
18 日					[11:00] 妻は告白する [14:00] ここに泉あり
19 月					休 館 日
20 火					休 映 日
21 水					[14:00] 裁かるるジャンヌ
22 木					[14:00] 吸血鬼 [19:00] 怒りの日
23 金					[14:00] 奇跡 [19:00] ゲアトルーズ
24 土					[11:00] 裁かるるジャンヌ [14:00] 怒りの日 [17:00] 吸血鬼
25 日					[11:00] 奇跡 [14:00] ゲアトルーズ
26 月					休 館 日
27 火					休 映 日
28 水					休 映 日
29 木					休 映 日
30 金					休 映 日
31 土					自主上映「北京ヴァイオリン」

アーカイヴ news

FIAFという 国際組織への加盟

FIAF(フィアフ)は、Federation Internationale des Archives du Film (国際フィルム・アーカイヴ連盟)の略語です。フィルム・アーカイヴとはフィルムを保存する施設であり、FIAFは1938年に設立されたフィルム保存施設の国際組織です。この国際組織に福岡市総合図書館は加盟しました。FIAFは東京近代美術館フィルム・センター、NY近代美術館やジョージ・イーストマン・ハウス等の国際的に知られるフィルム保存施設の集まりです。この組織では60ヶ国以上から100以上のフィルム保存施設が映画を通して国際交流を促進しています。同組織に加盟することで福岡市総合図書館は世界の、特にアジアの一フィルム保存施設として認識されます。

FIAFは最近アジアに力を入れており、2002年に初めてアジアで総会を開きました。ソウルで開催された第58回FIAF総会に福岡市総合図書館は招待されました。FIAFは70年近く前に欧米のフィルム保存施設が

立ち上げた組織ですが、総会では世界中の映画保存専門家が言葉という壁を越えて交流をしていました。特にアジアからは、次の総会を開くベトナム、中国、インド、イラン、フィリピン等数多くの国と地域が参加していました。

FIAF加盟により福岡市総合図書館は映画を通して交流をさらに深めることができます。例えば他のFIAFメンバーとの交流を通して、福岡や日本でも殆ど見ることができない名作を上映することが出来ます。

またFIAFの加盟により福岡市総合図書館の国際的信頼度が高まり、海外、特にアジアの映画人との交流をより深めることができます。アジアの窓口である福岡市のアジアとの交流をさらにアピールすることができます。

映像調査専門員
デビッド・キャリジャー



ソウルのFIAF総会会場

インフォメーション

シネラニュース送付のご案内

定期購読ご希望の方に毎月シネラNEWSをお届けしております。購読を希望される方は、平成16年2月号～平成16年4月号(3月発行)までの郵便切手(90円×3月)を同封の上、下記宛先へお申込ください。

■宛先:〒814-0001 福岡市早良区百道浜3-7-1 福岡市総合図書館 映像資料課

ビデオ編集技術研究室のご案内

ビデオ研究室では、家庭で撮影されたビデオ(Hi8・DV)や各行事の記録ビデオの編集などに利用できます。(使用料1時間500円、連続使用3時間迄)
※詳しくは福岡市総合図書館映像資料課まで

団体の自主上映について

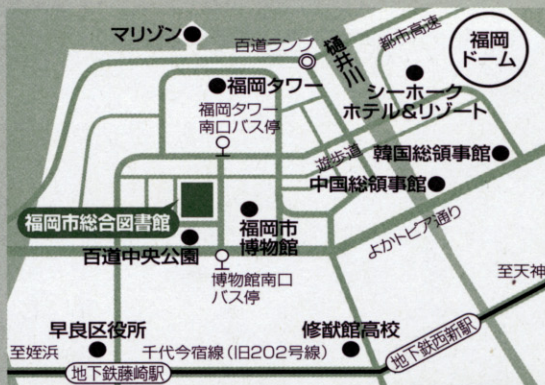
■平成16年1月31日(土)「北京ヴァイオリン」(監督:チェン・カイコー)

11:00～13:00、14:00～16:00映画上映

観覧料/一般前売券:1,200円(当日:1,400円、シニア:1,000円)

主 催/福岡映画サークル協議会(TEL781-2817)

*自主上映の詳細については、直接主催者にお問い合わせください。



いずれも、昼間は10～15分間隔で運行されていますので大変便利です。お近くのバス停からのご利用につきましては、西日本鉄道テレホンセンター(電話:733-3333)に直接お問い合わせください。

公共交通機関ご利用のお願い

駐車場は図書館利用者の共用であり、映像ホール専用の駐車場はありません。駐車スペースに限りがあり、常時混雑しておりますので長時間の駐車はご遠慮いただいております。できるだけ公共交通機関のご利用をお願いいたします。土日祝日のご利用や1日に複数回の映画をご覧いただく場合などは、特にご協力をいただきますようお願いいたします。

交通アクセス

当館の駐車場スペースに限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

地 下 鉄:
西新駅または藤崎駅から徒歩15分

西鉄バス:
天神～都市高速経由～福岡タワー南口
(所要時間:昼間で約20分)

博多駅～都市高速経由～福岡タワー南口
(所要時間:昼間で約25分)

福岡タワー南口バス停から徒歩3分